

市誌編さんだより Vol.2

「高浜市誌 第二巻」の編さんから約40年。本格的に市誌編さん事業がスタートしました。奇数月の1日号にて編さん状況を紹介します。

今回は、特徴的な取り組みである“聞き書き”調査についてお伝えします。



聞き書き調査

聞き書き調査は、資料の不足を補い、「暮らし」・「想い」など↑聞き書き調査を行うメンバー資料から読み取ることのできない高浜市の歴史について、市民の記憶から紐解きます。平成29年度は、吉浜地区の「養鶏」と、高取地区の「暮らし」に関する調査を行います。



今回の調査の中心となるのは、名古屋市立大学の学生。まずは、高浜市を知るところからスタートしました。市内の見学、「聞き書き」調査についての勉強をし、市民の調査協力員に高浜市に関する話を聞きながら、調査の準備をしてきました。学生の意気込みも聞こえ、調査が楽しみです！

「鶏舎の見学をし、さら養鶏業について知りたいことが増えました！」

「“聞き書き”調査だから残せることがあり、やりがいを感じます！」

◇市誌は、専門家の調査だけでなく、市民の調査協力員や大学生、中高生と聞き書き調査・執筆を行います！調査協力や資料提供など、ぜひ皆さんも参加してください。

◇市誌編さん事業に関する詳しい内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページで紹介しています！

<お知らせ>「タカハマ！まるごと宝箱」吉浜の養鶏 —これまでとこれから— 開催！

吉浜地区で一時代を築いた産業「養鶏」。養鶏業を営んでいる方などをゲストスピーカーにお招きします。これまで、そしてこれからの養鶏について語り合ひましょう。

コーディネーター：一橋大学 教授 赤嶺 淳 氏、名古屋市立大学 准教授 佐野 直子 氏

とき・ところ：9月24日(日) 午後2時～ あいち中央農業協同組合 吉浜支店 2階

市誌編さんの現場から

②

このコーナーでは、調査の中で新たに見つかった高浜にまつわる「ヒト・モノ・コト」などの情報を速報として紹介します。

きょうどきょうさ 『郷土調査』



昭和3年度に、高濱尋常高等小学校（現在の高浜小学校）が作成した冊子で、当時の高浜町に関する多種多様なデータが収録されています。その筆跡などから、作成には多くの人が関わっていたと思われます。

当時使われていた方言や、婚礼や祭礼などがどのように行われていたかといったことも書かれており、昭和のはじめごろの、人々の暮らしぶりが伺える貴重な資料です。